

情報処理学会東北支部 平成23年度 通常総会

日時 : 平成23年5月18日(水) 12:30～14:00
場所 : 東北大学 工学部 電子情報システム・応物系 2号館 204会議室
住所 : 〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-05

次第

- I 開会
- II 総会成立報告 資料1
- III 支部長挨拶
- IV 議事
 - (表彰)
 - 1. 平成22年度 東北支部学生奨励賞の選考結果報告 資料2
 - 2. 平成22年度 東北支部奨励賞の選考結果報告 資料3
 - 3. 第6回 東北支部野口研究奨励賞の選考結果報告 資料4
 - 4. 平成22年度 東北支部奨励賞 贈呈
 - 5. 第6回 東北支部野口研究奨励賞 贈呈
 - (審議事項)
 - 1. 平成22年度活動報告について 資料5
 - 2. 平成22年度決算について 資料6, 資料7
 - 3. 支部監事の廃止に伴う支部規約の改正について 資料8
 - 4. 平成23年度役員改選について 資料9, 資料10, 資料11
 - 5. 平成23年度事業計画について 資料12
 - 6. 平成23年度予算について 資料13
 - 7. その他
 - 1. 平成23年度電気関係学会東北支部連合大会について 資料14
 - 2. 推薦論文制度について 資料15
- (学会概況報告)
 - 1. 学会概況報告
- V 閉会

情報処理学会東北支部
平成23年度 通常総会の成立について

総会出席者数 : 158 名 (委任状 138 名を含む)

支部正会員数 : 599 名 (4月1日現在。退会、除名予定者を除く。)

以上により、正会員数の10分の1を超えているので、本総会は成立する。

(東北支部規約より抜粋)

第9条 2項 支部総会は、支部正会員の10分の1以上の出席をもって成立する。ただし、あらかじめ委任状を提出した者は出席者とみなす。

情報処理学会東北支部 平成22年度 学生奨励賞 受賞者

趣旨 情報処理分野を学ぶ東北地区の学生が、より一層、情報処理分野の勉学に勤しむように奨励する。

対象 情報関連学科を持つ大学または高専の卒業年度生で、成績優秀な学生。

(学生奨励賞に関する要項より要約・抜粋)

情報関連学科を持つ主要大学等 13 校に成績優秀者の推薦を依頼したところ、下記 13 名の推薦があった。選考委員会においてメール審議を行い、推薦のあった全ての学生に学生奨励賞を授与することと決定した。

- 三村 直道 (弘前大学理工学部電子情報工学科)
- 元田 剛 (八戸工業大学工学部システム情報工学科)
- 及川 聡 (岩手大学工学部情報システム工学科)
- 荻原 勇一 (岩手県立大学ソフトウェア情報学部)
- 佐藤 諒 (秋田大学工学資源学部情報工学科)
- 南雲 輝博 (東北大学工学部情報知能システム総合学科)
- 佐々木 翔 (東北工業大学工学部情報通信工学科)
- 鎌田 吉英 (仙台高等専門学校専攻科情報システム工学専攻)
- 伊藤 智貴 (山形大学工学部情報科学科)
- 細川 明洋 (鶴岡工業高等専門学校制御情報工学科)
- 原田 敏宏 (会津大学コンピュータ理工学部コンピュータ理工学科)
- 山崎 辰也 (福島大学理工学群共生システム理工学類)
- 渡辺 暁 (日本大学工学部情報工学科)

情報処理学会東北支部 平成22年度 支部奨励賞 受賞者

趣旨 情報処理に関する学問、技術の奨励のため、有為と認められる新進の科学者または技術者に贈呈する。

対象 支部連合大会および研究会に発表した者で、大学の学部卒業後10年未満の者。

(表彰規定より要約・抜粋)

平成22年8月26日、27日に開催された電気関係学会東北支部連合大会と、平成22年1月～12月に開催された研究会(計6回)のそれぞれにおいて、座長より合計10件(連合大会より7件、研究会より3件)の推薦があった。

それぞれの推薦論文について事前に有識者による査読を行い、その結果などをもとに平成23年4月28日に開催された選考委員会および平成23年5月12日に開催された役員会で以下の受賞候補者を決定した。

東北支部連合大会

- 酒井 修二 (東北大学)
「位相限定相関法を用いた受動型3次元計測の高精度化」
- 小澤 一郎 (八戸工業大学)
「MODISを用いた地表付近の硫黄含有ガス検出とガス種類の判別」
- 齋藤 和也 (東北大学)
「楕円曲線暗号ハードウェアの電力解析による安全性評価」

研究会

- 高橋 毅 (秋田大学)
「口唇の局所領域における形状特徴解析と個人識別のためのグループ化」
- 須藤 一向 (秋田県立大学)
「適応的学習機能を有する表情認識モデルに関する検討」

情報処理学会東北支部 第6回野口研究奨励賞 受賞者

趣旨 優秀な学術論文を出版した東北支部会員の若手研究者に対して賞を授与し、より一層の情報処理分野に関する研究開発を奨励する。

対象 過去5年程度以内において、学術雑誌・国際会議予稿集に掲載された論文の主要な著者で、35歳以下の若手研究者。

(野口研究奨励賞の要項より要約・抜粋)

第6回 野口研究奨励賞に3件の応募があり、平成23年4月28日に開催された選考委員会および平成23年5月12日に開催された役員会で慎重に審議した結果、以下の1名を受賞候補者とすることを決定した。

受賞候補者 中山 英久 (東北工業大学工学部知能エレクトロニクス学科・准教授)

対象論文 “A Dynamic Anomaly Detection Scheme for AODV-based Mobile Ad Hoc Network,”
Hidehisa Nakayama, Satoshi Kurosawa, Abbas Jamalipour, Yoshiaki Nemoto, and Nei Kato,
IEEE Transactions on Vehicular Technology,
vol. 58, issue 5, pp.2471-2481, Jun. 2009.

情報処理学会東北支部 平成22年度活動報告

1 支部総会

日程 : 平成22年5月19日(水)
会場 : 東北大学工学部 電子情報システム・応物系 103 会議室
参加者 : 155 名 (委任状 142 名を含む)

2 役員会等

2.1 第1回 幹事会

日時 : 平成23年4月28日(木) 13:30~14:45
会場 : 東北大学電気通信研究所 2号館 4階 小会議室
議題 : 1. 平成23年度支部役員改選について
2. 平成22年度支部奨励賞, 支部学生奨励賞,
第6回 野口研究奨励賞について
3. 平成22年度活動報告について
4. 平成23年度活動計画について
5. 平成22年度決算について
6. 平成23年度予算について
7. その他

2.2 第1回 役員会

日時 : 平成23年5月12日(木) 16:00~17:00
会場 : 東北大学電気通信研究所 2号館 4階 大会議室
議題 : 1 報告事項
1. 支部役員改選結果報告
2. 支部長会議, 役員検討会報告
3. 支部学生奨励賞の受賞者の報告
2 審議事項
1. 支部監事の廃止に伴う支部規約の改正について
2. 支部奨励賞の受賞者の決定について
3. 第6回 野口研究奨励賞の受賞者の決定について
4. 平成22年度活動報告について

5. 平成 23 年度活動計画について
 6. 平成 22 年度決算について
 7. 平成 23 年度予算について
 8. 平成 23 年度支部総会について
 9. 平成 23 年度電気関係学会東北支部連合大会について
- 3 その他
1. 支部からの推薦論文について

3 事業計画に基づく事業（行事、表彰等）

3.1 電気関係学会東北支部連合大会

- 日程 : 平成 22 年 8 月 26 日（木）, 27 日（金）
- 会場 : 八戸工業大学
- 一般講演 : 330 件
- 参加者数 : 述べ 572 名
- 特別講演 :
- 日時 : 平成 22 年 8 月 26 日（木） 15:30～17:00
- 場所 : 八戸工業大学 本館 2 階 AV ホール
- 講師 : 栗村 知弘 氏（八戸縄文保存協会 会長）
- 演題 : 国宝「合掌土偶」と漆文化について
- 参加者数 : 約 100 名

3.2 研究講演会

今年度は 7 回開催した。

- 第 352 回研究講演会

日程 : 平成 22 年 5 月 19 日（水）

会場 : 東北大学工学部電子情報システム・応物系 103 会議室

講演者 : 砂原 秀樹 氏（慶応義塾大学 教授, 情報処理学会 理事）

講演題目 : Thinking RealSpace: 感じる地球
— すべてをつなぐネットワークと実空間アプリケーション

参加者数 : 14 名
- 第 353 回研究講演会

日程 : 平成 22 年 5 月 19 日（水）

会場 : 東北大学工学部電子情報システム・応物系 101 大講義室

講演者 : 太田 直久 氏（慶応義塾大学大学院メディアデザイン研究科 教授）

講演題目 : Networked Digital Media

参加者数 : 約 260 名

- 第 354 回研究講演会
 - 日程 : 平成 22 年 7 月 20 日 (火)
 - 会場 : 秋田大学工学資源学部 5 号館 1 階 101 講義室
 - 講演者 : 遠藤 好朗 氏 (伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 札幌支店長)
 - 講演題目 : 商社からみた, IT 業界
 - 参加者数 : 80 名

- 第 355 回研究講演会
 - 日程 : 平成 22 年 10 月 8 日 (金)
 - 会場 : 山形大学工学部 (米沢キャンパス) 中示範 C 教室
 - 講演者 : 伝 康晴 氏 (千葉大学文学部 教授)
榎本 美香 氏 (東京工科大学メディア学部 助教)
 - 講演題目 : 対話研究の新展開
 - 参加者数 : 32 名

- 第 356 回研究講演会
 - 日程 : 平成 22 年 11 月 12 日 (金)
 - 会場 : 弘前大学理工学部一号館 10 番講義室
 - 講演者 : 藤 博幸 氏 (産業技術総合研究所 生命情報工学研究センター
副研究センター長)
 - 講演題目 : タンパク質間相互作用解析のバイオインフォマティクス
 - 参加者数 : 約 50 名

- 第 357 回研究講演会
 - 日程 : 平成 22 年 12 月 16 日 (木)
 - 会場 : 東北工業大学長町キャンパス R121 番教室
 - 講演者 : 藤原 正樹 氏 (公立大学法人 宮城大学 事業構想学部 教授)
 - 講演題目 : 中小企業の企業間連携における I T の役割
 - 参加者数 : 約 80 名

- 第 358 回研究講演会
 - 日程 : 平成 23 年 2 月 18 日 (金)
 - 会場 : 東北大学工学部情報知能システム総合学科 1 号館 451・453 大会議室
 - 講演者 : 若林 一敏 氏 (日本電気株式会社
組込みシステムソリューション事業部兼システム IP コア研究所 主幹研究員)
 - 講演題目 : ソフトウェア向け C コンパイラとハードウェア向け C コンパイラ
～再構成チップ適用を通じて, 本質的な相違点を考える～
 - 参加者数 : 約 50 名

3.3 研究会

今年度は6回開催した。

- 平成22年度 第1回研究会
 - 日程 : 平成22年12月7日(月)
 - 会場 : 弘前大学工学部一号館5階10番講義室
 - 発表件数 : 26件
 - 参加者数 : 50名
- 平成22年度 第2回研究会
 - 日程 : 平成22年12月13日(月)
 - 会場 : 秋田大学産学連携推進機構1階会議室
 - 発表件数 : 16件
 - 参加者数 : 59名
- 平成22年度 第3回研究会
 - 日程 : 平成22年12月18日(土)
 - 会場 : 岩手大学工学部4号館(情報システム工学科棟)106室
 - 発表件数 : 38件
 - 参加者数 : 68名
- 平成22年度 第4回研究会
 - 日程 : 平成23年2月12日(土)
 - 会場 : 会津大学コンピュータ工学部研究棟2階小講義室S5,S6
 - 発表件数 : 30件
 - 参加者数 : 42名
- 平成22年度 第5回研究会
 - 日程 : 平成23年2月15日(火)
 - 会場 : 東北学院大学 泉キャンパス 2号館 2F 226教室 (A会場)・229教室 (B会場)
 - 発表件数 : 18件
 - 参加者数 : 79名
- 平成22年度 第6回研究会
 - 日程 : 平成23年3月14日(月)
 - 会場 : 東日本大震災の影響により口頭発表は中止
 - 発表件数 : 48件
 - ※ Webへの発表論文の掲載にて開催にかえる

3.4 表彰

3.4.1 支部学生奨励賞

以下の13名が受賞した。

- 三村 直道 (弘前大学理工学部電子情報工学科)
- 元田 剛 (八戸工業大学工学部システム情報工学科)
- 及川 聡 (岩手大学工学部情報システム工学科)
- 荻原 勇一 (岩手県立大学ソフトウェア情報学部)
- 佐藤 諒 (秋田大学工学資源学部情報工学科)
- 南雲 輝博 (東北大学工学部情報知能システム総合学科)
- 佐々木 翔 (東北工業大学工学部情報通信工学科)
- 鎌田 吉英 (仙台高等専門学校専攻科情報システム工学専攻)
- 伊藤 智貴 (山形大学工学部情報科学科)
- 細川 明洋 (鶴岡工業高等専門学校制御情報工学科)
- 原田 敏宏 (会津大学コンピュータ理工学部コンピュータ理工学科)
- 山崎 辰也 (福島大学理工学群共生システム理工学類)
- 渡辺 暁 (日本大学工学部情報工学科)

3.4.2 支部奨励賞

以下の5名が受賞した。

- 東北支部連合大会
 - － 酒井 修二 (東北大学)
「位相限定相関法を用いた受動型3次元計測の高精度化」
 - － 小澤 一郎 (八戸工業大学)
「MODISを用いた地表付近の硫黄含有ガス検出とガス種類の判別」
 - － 齋藤 和也 (東北大学)
「楕円曲線暗号ハードウェアの電力解析による安全性評価」
- 研究会
 - － 高橋 毅 (秋田大学)
「口唇の局所領域における形状特徴解析と個人識別のためのグループ化」
 - － 須藤 一向 (秋田県立大学)
「適応的学習機能を有する表情認識モデルに関する検討」

3.4.3 野口研究奨励賞

以下の1名が受賞した。

- 中山 英久（東北工業大学工学部知能エレクトロニクス学科・准教授）
「A Dynamic Anomaly Detection Scheme for AODV-based Mobile Ad Hoc Network」

3.5 支部だよりの発行

第226号から第227号まで2回発行。

4 その他特記事項等

4.1 後援

- 中学生のためのコンピュータ・グラフィクス講座
日時：平成22年12月27日、28日
場所：東北大学創造工学センター「発明工房」
主催：東北大学 サイバーサイエンスセンター

4.2 協賛


- 子ども科学キャンパス
日時：平成22年7月28日、29日、10月12日、13日
場所：東北大学創造工学センター「発明工房」
主催：東北大学、仙台市教育委員会
- 「米沢市立病院を中心とする地域医療連携のICT化を担う人材育成事業」に関わる公開連続研究セミナー
日時：平成22年11月17日、25日、26日
場所：米沢市立病院講義室
主催：米沢市立病院、(財) 仙台応用情報学研究振興財団

監査結果報告

情報処理学会東北支部規約第7条5項の規定に基づき
平成22年度の当支部会計（収支決算）について、会計
帳簿及び証拠書類について監査した結果、適正かつ妥当
に処理されていたことを報告いたします。

平成23年 5月 9日

情報処理学会東北支部

監事 菊地正徳 

情報処理学会東北支部 平成22年度決算

収入	予算	決算	決算一予算	備考
本部からの繰入相当額	1,830,000	1,740,000	-90,000	
支部交付金相当額	1,830,000	1,740,000	-90,000	会員数減
補助金収入	50,000	50,000	0	
寄付金	50,000	50,000	0	仙台応用情報学研究振興財団（野口研究奨励賞）
雑収入（利息等）	1,000	543,249	542,249	利息、 <u>（東北支部連合大会清算金）</u>
当期収入合計（A）	1,881,000	2,333,249	452,249	
前期からの繰越金	1,739,723	1,739,723	0	
収入合計（B）	3,620,723	4,072,972	452,249	

支出	予算	決算	予算一決算	
事業費	1,383,000	1,175,062	207,938	
講演会	480,000	237,527	242,473	7回
研究会	240,000	169,946	70,054	5回
支部表彰	303,000	310,008	-7,008	支部奨励賞，学生奨励賞，野口研究奨励賞
連合大会	310,000	387,581	-77,581	連合事務局分担金，連合大会分担金
セミナー支援	50,000	70,000	-20,000	子ども科学キャンパス，米沢市立病院セミナー
管理費	720,000	661,911	58,089	
役員会・幹事会	120,000	146,020	-26,020	<u>（役員旅費）</u> ，弁当代等
総会	170,000	131,450	38,550	<u>（受賞者旅費）</u> ，弁当代，懇親会補助等
広報・アルバイト	420,000	<u>383,270</u>	36,730	総会案内はがき代，アルバイト代等
雑費	10,000	1,171	8,829	手数料，利息税等
当期支出合計（C）	2,103,000	<u>1,836,973</u>	266,027	

収支	予算	決算	決算一予算
当期収支差額（A-C）	-222,000	496,276	718,276
次期への繰越金（B-C）	1,517,723	2,235,999	718,276

平成 1923 年 5 月 918 日改正施行

情報処理学会東北支部規約

(設置・名称)

第 1 条 情報処理学会定款第 3 条により、東北地区（青森・岩手・秋田・宮城・山形・福島）の 6 県を一円とした地域をいう。以下同じ。）に支部をおき、情報処理学会東北支部（以下「支部」という。）と称する。

(目的)

第 2 条 支部は、東北地区において情報処理学会（以下「学会」という。）の目的を遂行する。

(事業)

第 3 条 支部は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 情報処理に関する調査研究
- (2) 情報処理に関する講演会、講習会、見学会等の開催
- (3) 情報処理に関する知識の普及および広報活動
- (4) 機関誌、図書および刊行物の発行ならびに取次等
- (5) その他、目的達成に必要な事項

(会員)

第 4 条 支部の会員（以下「支部会員」という。）は、東北地区に在住または勤務する学会の会員とする。

第 5 条 支部に次の役員をおく。

- (1) 支部長 1 名
- (2) 支部幹事 8-6 名以上
- ~~(3) 支部監事 1 名~~
- (3-4) 支部評議員 若干名

第 6 条 支部長、および支部幹事および支部監事は、支部に属する学会の正会員（以下「支部正会員」という。）の選挙（互選）によって定める。

2. 支部評議委員は、支部正会員および賛助会員の中から支部長が委嘱する。

第 7 条 支部長は、支部を代表し、支部を統括する。

2. 支部長は、支部総会、支部役員会および支部幹事会を召集し、その議長となる。

3. 支部長が欠けた場合、または事故があるときは、あらかじめ支部長が指名した支部幹事または支部評議員が代行するものとする。

4. 支部幹事は、支部長を助けて支部の事業を遂行する。
- ~~5. 支部監事は、支部の会計について監査をおこなう。~~
- 5.6. 支部評議員は、支部長と協力して支部の事業の遂行を援助する。

(役員任期)

第8条 支部役員任期を次のように定める。

- (1) 支部長および支部監事の任期は2年とする。
- (2) 支部幹事の任期は2年とし、毎年約半数を改選する。ただし、再任を妨げない。
- (3) 支部評議員に任期は2年とし、再任を妨げない。
- (4) 前3号にかかわらず、役員に欠員が生じた場合は、支部幹事会で後任を選任することができる。ただし、その任期は前任者の残余の期間とする。

(総会)

第9条 支部総会は、年1回開催する。ただし、必要に応じて臨時に開催することができる。

2. 支部総会は、支部正会員の10分の1以上の出席をもって成立する。ただし、あらかじめ委任状を提出した者は出席者とみなす。
3. 支部会員の過半数から、理由を示して要求があった場合は、臨時支部総会を開くものとする。
4. 議決は、出席者の過半数をもって行い、可否同数のときは、議長の決するところとする。
5. 支部総会の付議事項は、次のとおりとする。
 - (1) 事業に関する事項
 - (2) 予算および決算に関する事項
 - (3) 支部役員選出に関する事項
 - (4) 支部規約の改廃に関する事項
 - (5) その他、支部幹事会が必要と認めた事項

(幹事会)

第10条 支部幹事会は、支部長および支部幹事をもって組織する。

2. 支部幹事会は、必要の都度開催し、支部の運営および事業の実施に必要な事項に関して審議する。

(役員会)

第11条 支部役員会は、支部長および支部幹事、支部監事、支部評議員をもって構成する。

2. 支部役員会は、必要の都度開催し、次の事項を審議する。

- (1) 支部総会に提出する議案
- (2) 支部の事業の実施に関する事項
- (3) その他、支部の運営に関して必要な事項

(会計)

第12条 支部の経費は、本部からの交付金およびその他の収入金をもって充てる。

第13条 支部の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第14条 支部の業務を処理するため、事務局を設け、事務局に事務職員、その他必要な職員をおくことができる。

(雑則)

第15条 本規約は、支部総会において出席者の3分の2以上の賛成を得なければ改廃できない。なお、その結果を理事会に報告するものとする。

第16条 本規約に定めるもののほか、支部の運営に関する必要な事項は別に定める。

付則

この規約は、昭和47年1月29日から施行する。

この規約は、昭和47年2月17日から改正施行する。

この規約は、昭和48年5月24日から改正施行する。

この規約は、平成3年2月7日から改正施行する。

この規約は、平成9年4月23日から改正施行する。

この規約は、平成19年5月9日から改正施行する。

この規約は、平成23年5月18日から改正施行する。

平成22年度 情報処理学会東北支部 役員名簿

2011.3.31 現在

役職	氏名	前任者	所属
支部長	木下 哲男	亀山 充隆	東北大学電気通信研究所
監事	菊地 正衡	再任	(株)NTTデータ東北
庶務幹事	秋山 正史	三瓶 一夫	NECソフトウェア東北
会計幹事	菅沼 拓夫	福士 将	東北大学サイバーサイエンスセンター
広報幹事	山本 敏孝	再任	日本電気東北支社公共第一営業部
	住井 英二郎	本間 尚文	東北大学大学院情報科学研究科
	庄司 貞雄	岡 敏幸	(株)日立東日本ソリューションズ
	滝沢 寛之	阿部 亨	東北大学大学院情報科学研究科
評議員	亀山 充隆	牧野 正三	東北大学大学院情報科学研究科
	福士 将		東北大学大学院情報科学研究科
	本間 尚文	福士 将	東北大学大学院情報科学研究科
	阿部 亨	北形 元	東北大学サイバーサイエンスセンター
	斎藤 稔	再任	弘前大学大学院理工学研究科電子情報システム工学専攻
	山口 広行	吉米地 宣裕	八戸工業大学システム情報工学科
	景山 陽一	再任	秋田大学大学院工学資源学研究科
	猿田 和樹	小澤 一文	秋田県立大学システム科学技術学部電子情報システム工学科
	今野 晃市	藤本 忠博	岩手大学工学部電気電子・情報システム工学科
	布川 博士	再任	岩手県立大学ソフトウェア情報学部
	平中 幸雄	後藤 源助	山形大学大学院理工学研究科
	水木 敬明	木下 哲男	東北大学サイバーサイエンスセンター
	小島 正美	再任	東北工業大学ライフデザイン学部経営コミュニケーション工学科
	岩本 正敏	再任	東北学院大学工学部
	安藤 敏彦	千葉 慎二	仙台高等専門学校情報システム工学科
	成瀬 継太郎	齋藤 寛	会津大学コンピュータ理工学部
	岩井 俊哉	武内 惇	日本大学工学部情報工学科
	高橋 裕美	斉藤 文雄	富士通株式会社東北営業本部
	只野 徹	再任	(株)富士通東北システムズ 経営企画室
	富樫 敦		宮城大学事業構想学部デザイン情報工学科

掲載略

平成23年度 情報処理学会東北支部 役員名簿 (案)

2011.5.11 現在

役職	氏名	前任者	所属	備考
支部長	木下 哲男	亀山 充隆	東北大学電気通信研究所	
庶務幹事	新 関口 理恵	秋山 正史	NECソフトウェア東北	
	菅沼 拓夫	福士 将	東北大学サイバーサイエンスセンター	
会計幹事	山本 敏孝	再任	日本電気東北支社公共第一営業部	
	新 佐野健太郎	住井 英二郎	東北大学大学院情報科学研究科	
広報幹事	新 庄司 貞雄	再任	(株)日立東日本ソリューションズ	
	滝沢 寛之	阿部 亨	東北大学大学院情報科学研究科	
評議員	亀山 充隆	牧野 正三	東北大学大学院情報科学研究科	
	福士 将		東北大学大学院情報科学研究科	
	新 住井 英二郎	本間 尚文	東北大学大学院情報科学研究科	前会計幹事枠
	阿部 亨	北形 元	東北大学サイバーサイエンスセンター	
	斎藤 稔	再任	弘前大学大学院理工学研究科電子情報システム工学専攻	
	新 山口 広行	再任	八戸工業大学システム情報工学科	
	景山 陽一	再任	秋田大学大学院工学資源学研究科情報工学専攻	
	猿田 和樹	小澤 一文	秋田県立大学システム科学技術学部電子情報システム学科	
	新 平山 貴司	今野 晃市	岩手大学工学部電気電子・情報システム工学科	
	布川 博士	再任	岩手県立大学ソフトウェア情報学部	
	平中 幸雄	後藤 源助	山形大学大学院理工学研究科	
	新 水木 敬明	再任	東北大学サイバーサイエンスセンター	
	新 鈴木 健一	小島 正美	東北工業大学情報通信工学科	小島先生ご退職により交代
	岩本 正敏	再任	東北学院大学工学部	
	新 速水 健一	安藤 敏彦	仙台高等専門学校情報電子システム工学専攻	
	成瀬 継太郎	齋藤 寛	会津大学コンピュータ理工学部	
	岩井 俊哉	武内 惇	日本大学工学部情報工学科	
	高橋 裕美	斉藤 文雄	富士通株式会社東北営業本部	
	只野 徹	再任	(株)富士通東北システムズ 経営企画室	
	富樫 敦		宮城大学事業構想学部デザイン情報学科	

平成 23 年度活動計画 (案)

1 支部総会

日程 : 平成 23 年 5 月 18 日 (水) 12:30~14:00

会場 : 東北大学工学部電子情報システム・応物系 2 号館 204 会議室

2 役員会等

役員会 : 1~2 回程度開催予定

幹事会 : 1~2 回程度開催予定

3 各種事業 (行事、表彰等)

研究講演会 : 10 回程度開催予定

研究会 : 5 回程度開催予定

支部奨励賞 : 5 名程度表彰予定

支部学生奨励賞 : 10 名程度表彰予定

支部野口研究奨励賞 : 1 名程度表彰予定

後援 : 中学生のためのコンピュータ・グラフィクス講座

協賛 : 子ども科学キャンパス

情報処理学会東北支部 平成23年度予算案

収入	平成22年度		平成23年度 予算	備考
	予算	決算		
本部からの繰入相当額	1,830,000	1,740,000	1,740,000	
支部交付金相当額	1,830,000	1,740,000	1,740,000	
補助金収入	50,000	50,000	50,000	
寄付金	50,000	50,000	50,000	
雑収入(利息等)	1,000	543,249	1,000	
当期収入合計(A)	1,881,000	2,333,249	1,791,000	
前期からの繰越金	1,739,723	1,739,723	2,235,999	
収入合計(B)	3,620,723	4,072,972	4,026,999	

支出	平成22年度		平成23年度 予算	備考
	予算	決算		
事業費	1,383,000	1,175,062	1,383,000	
講演会	480,000	237,527	480,000	8回
研究会	240,000	169,946	240,000	6回
支部表彰	303,000	310,008	303,000	
連合大会	310,000	387,581	310,000	
セミナー支援	50,000	70,000	50,000	
管理費	720,000	661,911	720,000	
役員会・幹事会	120,000	146,020	120,000	
総会	170,000	131,450	170,000	
広報・アルバイト	420,000	383,270	420,000	
雑費	10,000	1,171	10,000	
当期支出合計(C)	2,103,000	1,836,973	2,103,000	

収支	平成22年度		平成23年度 予算
	予算	決算	
当期収支差額(A-C)	-222,000	496,276	-312,000
次期への繰越金(B-C)	1,517,723	2,235,999	1,923,999

平成23年度 電気関係学会東北支部連合大会 実施計画

1 実施計画の概要

- 主催学会 : 電気学会, 電子情報通信学会, 照明学会, 日本音響学会
映像情報メディア学会, 情報処理学会, 電気設備学会 (各東北支部)
IEEE Sendai Section
- 幹事学会 : 電気学会東北支部
- 大会期日 : 平成23年8月25日(木)～26日(金)
- 大会会場 : 東北学院大学多賀城キャンパス
(〒985-3785 多賀城市中央1-13-1)

2 大会日程

日程	月日	内容		
第1日目	8月25日(木)	午前	一般講演	展示会
		午後	一般講演 特別講演 (夜:懇親会)	
第2日目	8月26日(金)	午前	一般講演	展示会
		午後	一般講演	

3 一般講演

- 日時 : 8月25日(木) 9:00～15:00
8月26日(金) 9:00～17:00
- 講演内容 : 各専門分野で最近行った研究の発表, 各専門分野で最近行った工事報告, 現場実験報告, 新製品の紹介等

4 特別講演

- 日時 : 8月25日(木) 15:30～17:00
- 場所 : 東北学院大学工学部工学基礎教育センター 012 番教室
- 講師 : 未定
- 演題 : 未定

5 懇親会

日時 : 8月25日(木) 18:30 ~ 20:30 (予定)

場所 : 仙台ガーデンパレス (宮城県仙台市宮城野区榴ヶ岡 4-1-5)

会費 : 一般:5,000円, 学生:3,000円 (予定), 実行委員:3,000円 (予定)

6 展示会 (製品カタログ展示)

場所 : 東北学院大学多賀城キャンパス

7 現地担当実行委員

現地実行委員長 : 宮澤 正樹

(大会副委員長)

現地実行幹事 : 山田 顕, 嶺岸 茂樹, 石川 和己, 藪上 信

現地実行委員 : 塩川 孝泰, 芳賀 昭, 菅原 文彦, 加藤 和夫, 志子田 有光,
菜嶋 理, 吉川 英機, 加藤 実, 遠田 育子,
郭 海蛟, 大場 佳文, 金 義鎮, 岩本 正敏,
小野 孝, 神永 正博, 大沼 孝一, 呉 国紅, 原 明人

1997年7月1日制定
2010年4月21日改訂(10)

推薦論文制度

一般社団法人 情報処理学会
論文誌ジャーナル/JIP 編集委員会

本会主催の研究会、シンポジウム、ワークショップ、本会が主催ないし共催する国際会議、および支部主催シンポジウムにおいて発表された論文の中で、主催者またはプログラム委員会が優秀な論文と認定した論文を「推薦論文」と呼ぶ。推薦論文には、各イベントからの推薦と、研究会および支部による1年間の発表の中からの推薦との2つがある。

【A:各イベントからの推薦】

主催者またはプログラム委員会は、「推薦論文」を以下の手続きに従って論文誌ジャーナル/JIP編集委員会に推薦することができる。ただし、推薦者は下記の通りである。

研究会:研究会主査*

シンポジウム:プログラム委員長または主催する研究会の主査*

ワークショップ:プログラム委員長または主催する研究会の主査*

国際会議:本会会員のプログラム委員長または主催・共催する本会研究会の主査*

支部主催シンポジウム:プログラム委員長または主催する支部の支部長

*研究会、シンポジウム、ワークショップ、国際会議については、推薦が総意によってなされたことが分かる書類を添付することで、指定された推薦人の代理人をたてることを認める。

以下、推薦から査読そして掲載に至る手続きを述べる。

(1) 研究会主査/支部長/プログラム委員長は、推薦者として推薦論文推薦書(wordテンプレート)を論文誌ジャーナル/JIP編集委員会に提出する。なお、各イベントあたりの推薦論文数は、発表論文のうち、ページ数が6ページ以上の論文の総数の10%以内とする。

(2) 論文誌ジャーナル/JIP編集委員会は推薦者に、推薦論文の審査を担当する特別編集委員を委嘱する。ただし、支部主催シンポジウムの場合は推薦者が特別編集委員を推薦し委嘱する。推薦者は、論文誌ジャーナル/JIP編集委員会が規定するプロセスに従い査読する。なお、特別編集委員は、担当する推薦論文が判定される論文誌ジャーナル/JIP編集委員会小委員会に可能な限り参加し、判定に関する説明を行うものとする。

(3) 推薦論文が採録になった場合には、推薦論文を掲載する際、論文タイトルの脚注に下記の推薦文を添える。「本論文の内容は〇〇年〇月の〇〇〇〇研究会 /シンポジウム/ワークショップ/国際会議/支部主催シンポジウムにて報告され、同研究会主査/支部長/プログラム委員長により情報処理学会論文誌ジャーナルへの掲載が推薦された論文である」。推薦論文の英語名は Recommended Paper とする。

(4) 推薦論文が不採録になった場合には、その時点で推薦論文としての処理は終了する。

(5) 推薦論文推薦書の提出締切は、上記本会主催イベントの終了後 6 ヶ月以内とする。推薦論文の投稿締切は上記本会主催イベントの終了後 12 ヶ月以内とする。

【B: 研究会および支部による 1 年間の発表の中からの推薦】

「推薦論文」を以下の手続きに従って論文誌ジャーナル/JIP 編集委員会に推薦することができる。発表後の推薦投稿の有効期限はいずれも 24 ヶ月以内とする。

(b-1) 研究会による推薦論文

(1) 1 年間の研究会における発表の中から、主査、幹事による選定を経て、2 編を主査・幹事全員の連名で推薦可能とする。(研究会が主催するシンポジウムからの推薦論文数は外数)(日本語、英語 2 編ずつの枠)

(2) 研究会は、論文誌ジャーナル/JIP 編集委員会が割り振った推薦時期に推薦を行うものとする。

(3) 論文誌ジャーナル/JIP 編集委員会は、推薦書の推薦者のうちあらかじめ特別編集委員に指定してある 1 名に、推薦論文の審査を担当する特別編集委員を委嘱する。特別編集委員は、論文誌ジャーナル/JIP 編集委員会が規定するプロセスに従い査読する。なお、特別編集委員は、担当する推薦論文が判定される論文誌ジャーナル/JIP 編集委員会小委員会に可能な限り参加し、判定に関する説明を行うものとする。

(4) 推薦論文が採録になった場合には、推薦論文を掲載する際、論文タイトルの脚注に下記の推薦文を添える。「本論文の内容は〇〇年〇月の〇〇〇〇研究会/シンポジウム/ワークショップにて報告され、同研究会主査・幹事全員(全員)により情報処理学会論文誌ジャーナルへの掲載が推薦された論文である」。推薦論文の英語名は Recommended Paper とする。

(5) 推薦論文が不採録になった場合には、その時点で推薦論文としての処理は終了する。

(b-2) 支部による推薦論文

(1) 各支部で毎年 2 編の論文を支部会で選定し、支部長名で推薦可能とする。支部大会の 2 ページのものを基としてよい(日本語、英語 2 編ずつの枠)

(2) 支部は論文誌ジャーナル/JIP 編集委員会が割り振った推薦時期に推薦を行うものとする。

(3) 論文誌ジャーナル/JIP 編集委員会は推薦者に、推薦論文の審査を担当する特別編集委員を委嘱する。ただし、支部主催シンポジウムの場合は推薦者が特別編集委員を推薦し委嘱する。推薦者は、論文誌ジャーナル/JIP 編集委員会が規定するプロセスに従い査読する。なお、特別編集委員は、担当する推薦論文が判定される論文誌ジャーナル/JIP 編集委員会小委員会に可能な限り参加し、判定に関する説明を行うものとする。

(4) 推薦論文が採録になった場合には、推薦論文を掲載する際、論文タイトルの脚注に下記の推薦文を添える。「本論文の内容は〇〇年〇月の支部研究会/支部主催シンポジウム等にて報告され、支部長により情報処理学会論文誌ジャーナルへの掲載が推薦された論文である」。推薦論文の英語名は Recommended Paper とする。

(5) 推薦論文が不採録になった場合には、その時点で推薦論文としての処理は終了する。

本制度は 2010 年 4 月 1 日より適用する。

平成 年 月 日

論文誌ジャーナル/JIP 編集委員会 御中

推薦論文推薦書

研究会／シンポジウム／ワークショップ／国際会議／支部主催のシンポジウム／支部大会等
研究会主査／支部長／プログラム委員長：〇〇〇〇

推薦論文として下記の論文を推薦いたします。

題目：
著者：
著者連絡先：

出典、開催日：

推薦理由：

著者の同意：得ている。これから得る。

推薦率(A 枠でのご推薦時のみご記入ください)

推薦元イベントの発表論文中、推薦論文数の割合： %

備考欄：

特別編集委員(支部主催シンポジウムの場合)：

以上